

### <横浜南共済病院地域医療支援病院研修会NSTセミナー>

2017年12月11日実施報告

#### ①第9回 NST 活動報告・・・栄養科 伊藤 豊高

NST 介入依頼人数 62 名、延べカンファレンス件数 199 件と前年同時期より多い経過です (NST 加算割合：90.5%)。NST リンクナースの働きかけによる NST 介入が多くなっていることは重要です。今年度の NST 介入時の栄養状況として ALB 値 2.0 g/dL 以下の割合は前年 43%・今年 30%でしたが、短期栄養指標の TTR (トランスイルチン) 値 10mg/dL 以下の割合でみると前年 45%・今年 56%と低栄養の割合が多くみられました。NST 介入を躊躇される場合には、TTR を測定して栄養状態を確認されると NST 依頼のきっかけになると思われま



#### ②『悪液質について』・・・NST チェアマン 岡田 雅仁

がん悪液質における概念、がん以外での悪液質、悪液質の分類や考え方について講演していただきました。また、当院 NST 介入例から悪液質が疑われる症例においては、十分な栄養摂取であっても TTR 値 10mg/dL 未満でほとんど改善が見られない傾向でした。また、終末期の輸液栄養においては過剰になったり、患者さんにとって負担になったりしないように調節が必要なことを解説していただきました。



#### ③特別講演『がん患者の体重減少を抑える栄養管理』 がん研有明病院 消化器センター 胃外科 井田 智 先生



##### 講演内容

- がんにおける体重減少と骨格筋減少
  - 栄養不良があると手術に影響するの？
  - 栄養不良があると化学療法に影響するの？
- 周術期栄養管理 (NST 活動)
- 症例検討
- 栄養療法のトピックス

今回 NST 運営委員会では、がん診療連携指定病院である当院のがん患者さんの栄養管理向上を目的として、井田先生を講師にお招きして特別講演をしていただきました。

井田先生には「がん患者さんの約半数は、体重が減少する。」という各論から始まり、多くの試験データ、症例に基づいた栄養管理方法について講演していただきました。中でも栄養評価におけるプレアルブミン (TTR) の有用性や術後のアミノ酸製剤および脂肪乳剤の使用は骨格筋量の減少抑制する可能性があることなど、すぐに取り入れることのできる栄養評価や栄養投与方法について詳しく説明していただきました。

閉会挨拶では松川診療部長より「今回の講演で、明日から当院のがん患者に対する栄養管理が変わる」とコメントされるほど、非常に勉強となり日常診療での栄養管理に必須の素晴らしい講演をしていただきました。

(※当院では TTR 値測定が可能です。NST 回診では TTR 値を栄養評価に活用しています)

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。NST 運営委員会では栄養不良の早期発見、早期改善を目指しています。NST 介入のご依頼をお待ちしています。

発行人：NST チェアマン 岡田 雅仁

編集：井上 温、三浦 広美

小野田 素大、佐藤 剛